

2015年度教師海外研修(ガーナ) 研修報告書

学校名	名古屋市立引山小学校	氏名	板倉 めぐみ
-----	------------	----	--------

1. 現地研修に対する各自の目的 とその達成度

(特に、現地研修の経験を生かす授業実践に資することについて)

私は小学校で養護教諭として勤務をしている。開発途上国の保健分野の現状を把握し、養護教諭の立場でできることを考えたいと思い研修に参加をした。

ガーナでは、水不足や医療を十分に受けることができない、予防方法を知らないなど、保健に関する問題がたくさんあり、「保健分野」が大きい課題となっていた。そして、それらの課題を解決しようと現職教員特別派遣中の日本人養護教諭が現地で取り組みを行っていた。また、日本でも「学校保健」研修が毎年実施されて、世界中の研修員が学校保健活動を学びに来ていることも教えてもらった。

現地での研修を終え、養護教諭として日本でできることや伝えていくべきことがきつとあると思った。日本の子どもたちには、途上国の健康問題について伝え、健康でいることの大切さに気づくとともに、健康でいるための方法について考えていくことができたらと考えている。そして、今まで養護教諭が世界の健康課題に目を向けた実践がされていなかったため、少しでも多くの養護教諭や学校保健に携わる人々に伝えていきたいと思った。

2. 訪問国から学んだこと(気づいたこと、わかったこと、大切に思ったことなど)

(1) 柱1「訪問国に肯定的に出会う」という観点から

ある日のお昼ごはん。私たちはレストランで注文をした後に、すぐ近くの海辺へ散歩をしに行った。いつも料理が出てくるまでとても時間がかかる。何人かが注文したハンバーガーがやっと出てきたと思ったら、途中からバーガーではなく食パンに変わっていた。食パンの間にハンバーグが挟まっている。ハンバーガーではなく、ハン食パン。これはもうサンドイッチだと思った。もし、こんなことが日本で起きたら私はとても怒ると思う。もしかしたら、長い待ち時間に耐えることさえできず、お店を出てしまうかもしれない。でも、ガーナでは全く気にならなかった。一人は、みんなが食べ終わった後にやっと料理が届いた。そのときも怒ることなく「あ～！きてよかったね」とみんなで言った。私はこのとき、ガーナは私たちをとっても豊かな気持ちにしてくれていると感じ、気持ちの変化に驚いた。アンハッピーをハッピーにかえてくれるガーナはととても素敵なおところだった。

(2) 柱2「日本と訪問国とのつながりや同一性を理解する」という観点から

ガーナで日本人が活躍していること、日本の機材を使い研究がされていること、チョコレートになるカカオが育てられていることなど、日本とのつながりを感じることはたくさんあった。つながりを感じるたびに、とても遠いガーナがちょっとずつ近くに感じるようになった。

私は、帰国後にガーナから日本への支援は全くないのだろうか気になり、調べてみた。すると、2011年3月11日の東日本大震災後にガーナから支援があったことが分かった。ガーナの野口記念医学研究所から福島県の野口記念館にガーナチョコが送られ、東北の子どもたちに配られていたということである。その後も、ガーナの高校生が来訪し、日本に大きな勇気を与えてくれたようである。

私は、このことを知り、困った人を助けたい、力になりたいという気持ちはガーナも日本も同じであると思った。ただ、今はガーナの方が困っているだけなんだということに気づいた。同じところを見つけて、また少しガーナを近くに感じる事ができた。

(3) 柱3「共通の課題について共に考え・共に越える」という観点から

ガーナで活躍する日本人の方々に出会い、私はとてもビックリした。水道も電気もない村で暮らしたり、ときには頭の上にジャムパンをのせて売り子になったり、想像をはるかに超えるがんばりだった。こんなにもガーナの国の発展のために力を注ぐことができるんだと、日本人の方々の熱い思いに感動した。

日本人の方々は、ガーナ人の文化や思いを尊重し、相手に寄り添い、試行錯誤をしながらも一緒に課題解決に向けて取り組んでみえた。その姿をみて、普段私が保健室で子どもに関わる時、気をつけていることとよく似ていると感じた。積極的に関わりを持ち、肯定的に受け入れる。相手との信頼関係が築けたときがやっとスタートである。

ガーナに行って国際的な協力をすることはできないけれど、学校で困っている子どもに、手を差し伸べることはできる。解決できないこともあるけれど、一緒に悩んで挑戦してみることはできる。日々の生活の中で協力していくことが、国際協力の第一歩であることをガーナでの研修を通して気付くことができた。

3. JICAの国際協力事業の「良い!と思ったところ」と「今後あるといいなと思う視点」

適切なタイミングでとても参考になる資料を用意していただけること。また、その資料の内容を研修時に分担して読むことで、把握ができたこと…研修以外のところで、なかなか準備をする時間をつくれなかったので、研修時にすべてを詰め込んでいただけてとても助かった。

教育・農業・医療など幅広い訪問先に訪れることができたこと…様々な分野について学ぶことができ、とても新鮮で勉強になった。また、教員である私たちは、幅広い知識を持っていないといけないということに気付くことができた。

同行者の細かな心遣い!…私たちの研修が充実したものとなるよう、本当に細かいところまで配慮をいただいた。声に出していないのに、参加者の様子を見て、動いてくださっている姿に何度も感動した。みんなが安心して研修を受けることができた。

4. 訪問先ごとの「感じたこと」や「学んだこと」

※別掲

5. 印象に残る写真2点とその解説

●写真1… [DOK_6244]

◇キャプション：アクラ日本語補習校で集合写真

◇解説文：ガーナと日本を知る子どもたち。みんなの目にはどんな風に映っているのかな?そして、ガーナで家族と共に暮らす、日本人のお母さんとお父さん。みんなの力で学校がつくられていた。



●写真2… [AOS_5047]

◇キャプション：大切な水

◇解説文：水が通っていない村で暮らす子どもたち。
洗濯をするとき、体を洗うとき、ごはんを食べるとき、すべてこの水を使っているよ。



6. 来年度参加する先生へのアドバイス（持ち物、必要な準備、学びの視点、注意事項など）

<服装>

- ・帰りの機内の中がとても寒かったです。長そで薄手のニットでもダメでした。長時間耐えるのはつらいので、ウインドブレーカーなどがあると安心だと思います。
- ・防蚊対策でエアコンの温度を低くするとよいと聞き、ホテルでは最低の温度にしていました。とても寒かったので、寝るときは長そで2枚に、長ズボンにソックスを着ていました。
- ・洗濯は手洗いをしていましたが、1日研修をした夜にするのは結構つらいです。私はいらない下着などを持って行き、現地で捨ててきました。1泊だと乾かないので、2泊のときしか洗濯はできません。洗濯できるタイミングを考えて、衣服の数を調節するとよいと思います。

<持ち物>

- ・水分を吸収してくれるセームタオルは、洗濯のときにとっても役立ちました。
- ・ウェットティッシュはごはんを食べる前、手でごはんを食べた後、トイレの後などたくさん使いました。多めに持って行くとよいと思います。

<体調管理>

- ・ガーナ料理、中華料理は辛くて油っぽいものが多いです。苦手な方は、補助食などを持って行くとよいと思います。苦手な物があるときは、メンバーに伝え、ごはんの行き先を決めるときに考慮してもらうとよいです。

<虫よけ>

- ・虫よけグッズは、虫よけスプレー、手に付けるリング、虫よけウェットシート、電池式蚊取り線香（部屋に置く物・身に付ける物）、ドアノブに掛けるものを持って行きました。すべて薬局で購入した物です。

<訪問先でのあいさつ>

- ・現地の方にチュイ語であいさつをしました。ホテルのレストランにいたガーナ人に教えてもらいましたが、運転手の方に聞いている方もいました。みんな親切に教えてくれるので、ぜひ聞いてみて下さい。

<つながり>

- ・自己紹介の際に名刺をいただくことが多くありました。持って行けばよかったと後悔しています。凝った物でなくてもいいので、準備していくとよいと思いました。

<ホテル>

- ・部屋がくさい、天井から水漏れ、トイレの水が流れない、窓が壊れているなど、いろいろトラブルがありました。まず、部屋に入ったら一通り確認することが大切です。もし、なにか気になることがあったら、フロ

ントに伝えて、部屋をチェンジしてもらおうとよいと思います。

7. その他全般を通じての感想・意見など

この海外研修に参加するかどうかはじめはとても悩んだ。まずは、担任を持っていないこと、国際協力や開発教育について無知であること、学校の仕事が研修でできなくなること。それでも、やっぱりガーナに行きたいという思いが強く、周りの協力を得て参加することができた。参加することが決まったら、今度はとても不安になった。はじめての研修では、頭がいっぱいになった。でも、分からないから教えてもらおう、調べてみよう、考えてみようと思うようにしたら気持ちが楽になった。そのために研修に参加したんだと再確認した。

海外研修では、ガーナについて、日本について、そして一緒に参加したメンバーについてたくさんを知ることができた。帰国した今は、もっともっと知りたいなという気持ちでいっぱいである。海外研修は終わったが、実践はこれからである。伝えること・つなげること・続けることを大切に、取り組んでいきたいと思っている。

以上